



大分県女性の 妊娠・出産・不妊治療に関する意識調査

『ルナルナ』を運営する（株）エムティーアイと大分県は、妊娠・出産・不妊の支援に係る連携・協力に関する事業連携協定を締結しています。

エムティーアイ

調査概要

● 調査の目的

- ・ 大分県在住の女性の妊娠・出産・不妊治療に対する意識や課題を把握し『ルナルナ』のサービス向上に活用する。
- ・ ルナルナと大分県とのコラボレーション企画に活用する。

● 調査実施時期

令和元年6月21日(金)～令和元年6月30日(日)

● 調査対象

全国の10代～50代以上のルナルナユーザー：15,646名
そのうち大分県在住のルナルナユーザー：150名

● 調査方法

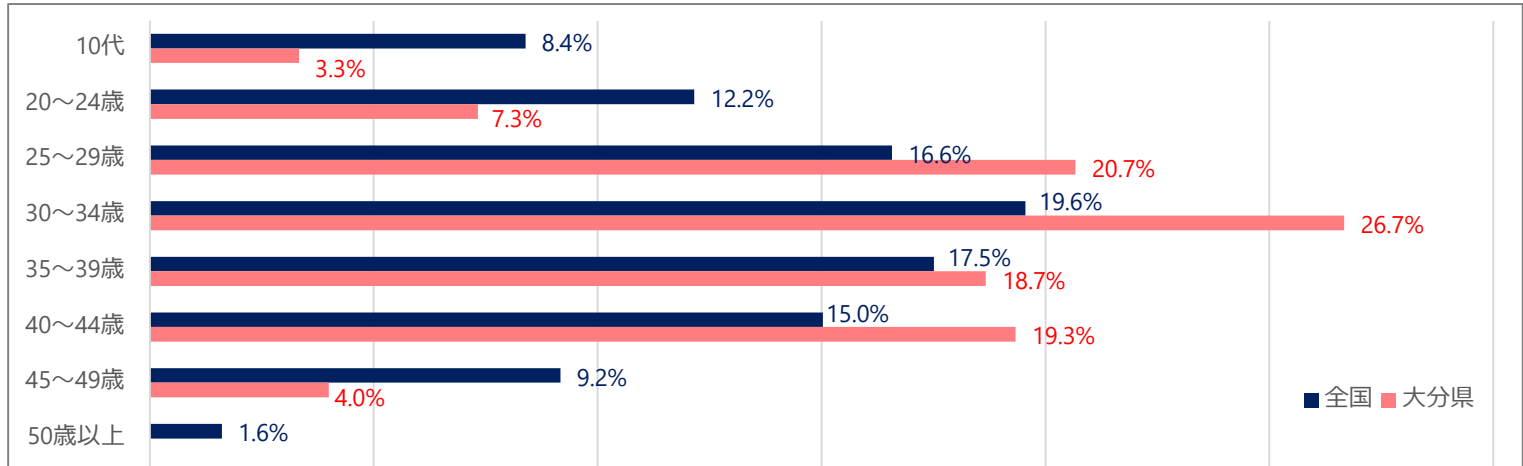
株式会社エムティーアイが運営する女性の健康情報サービス「ルナルナ」及び「ルナルナ 体温ノート」内にてアンケート調査を実施

回答者の属性について

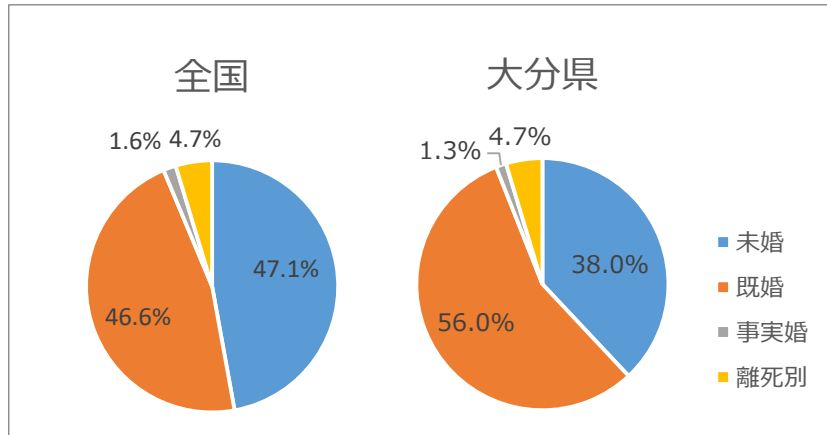
全員

Q1: あなたの年齢と婚姻状況、お子様の有無を教えてください。(全国n=15,546、大分県n=150)

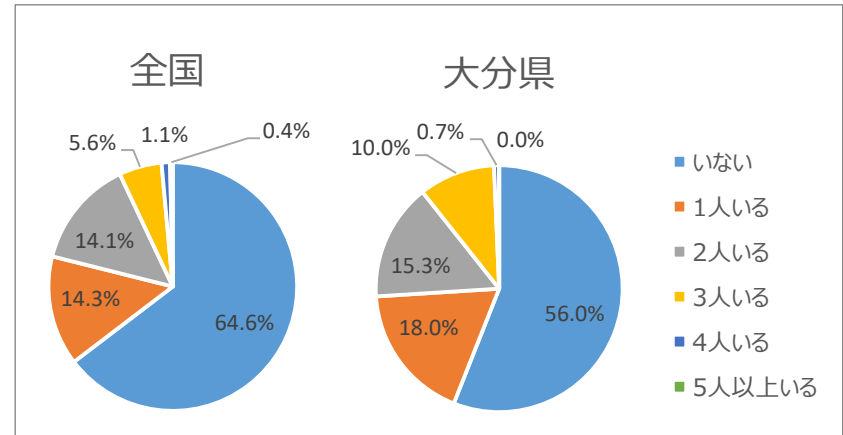
【年齢】



【婚姻状況】



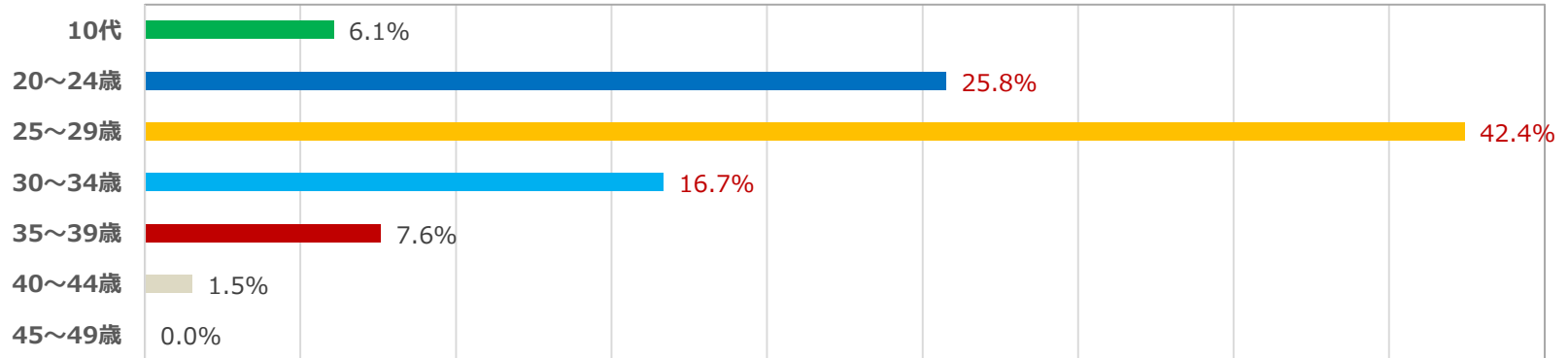
【子どもの有無】



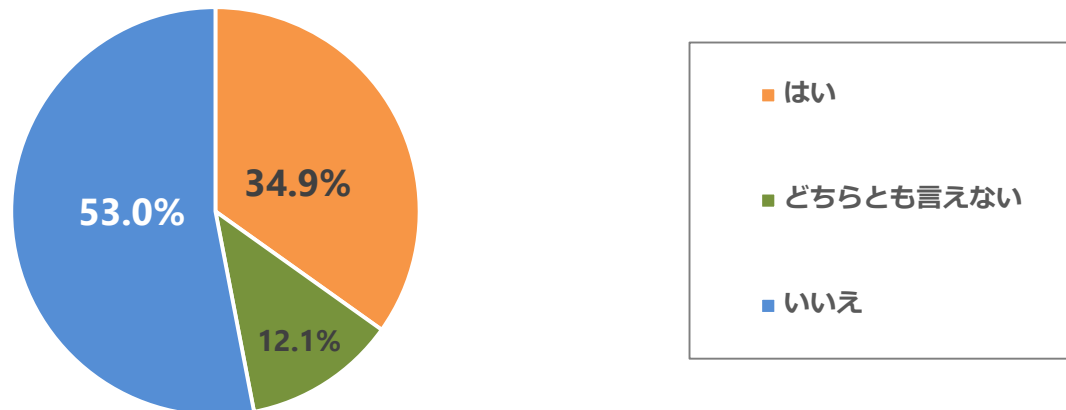
大分県のルナルナユーザーの第1子出産年齢は、 7割以上が30歳未満

子どもが
いる

Q2: (お子様がいる方へ) 第1子出産年齢を教えてください。(n=66)



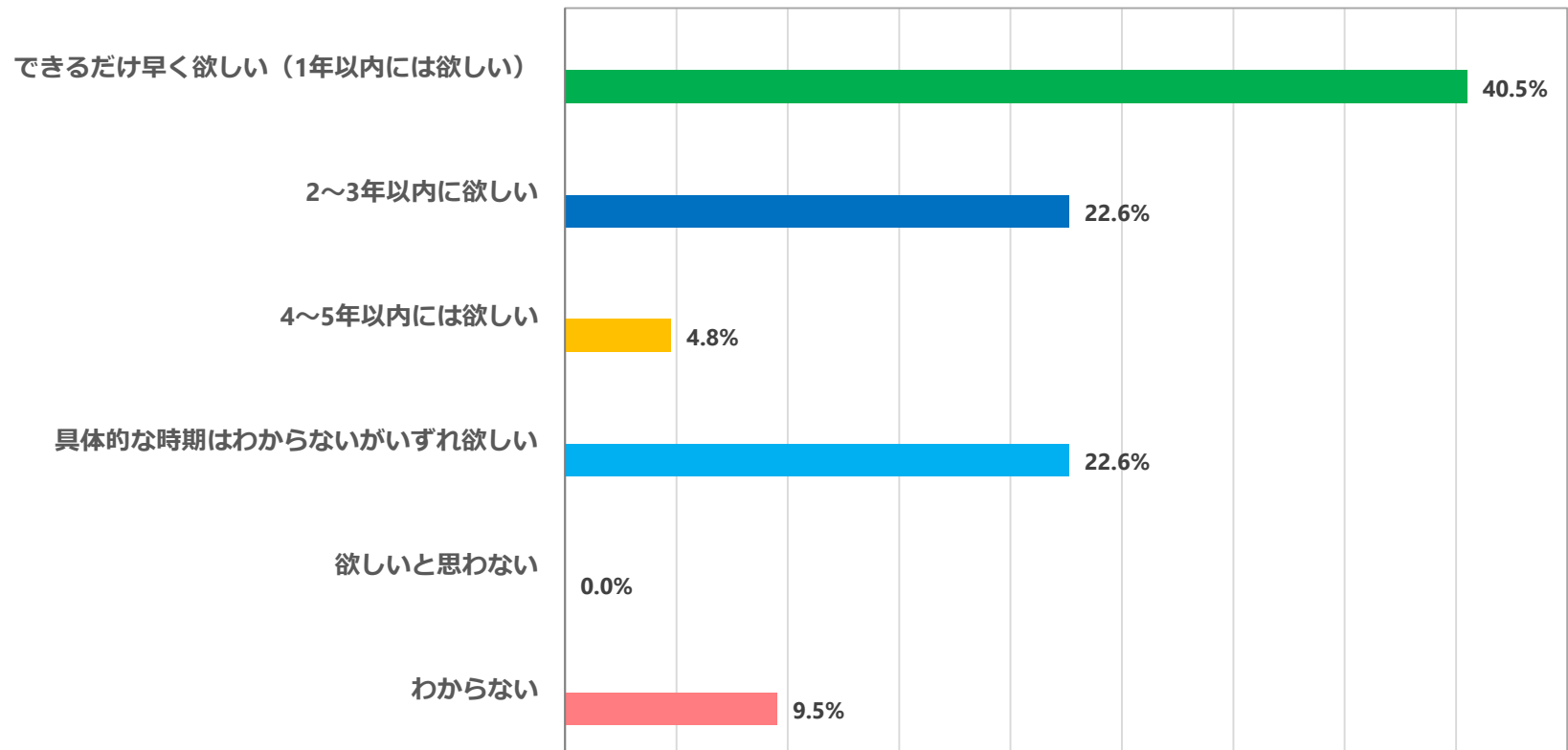
Q3: 今後もさらに (第2子以降の) 子どもを望んでいますか。(n=66)



子どものいない女性の9割以上が、 「将来子どもを望む」という結果に

子どもが
いない

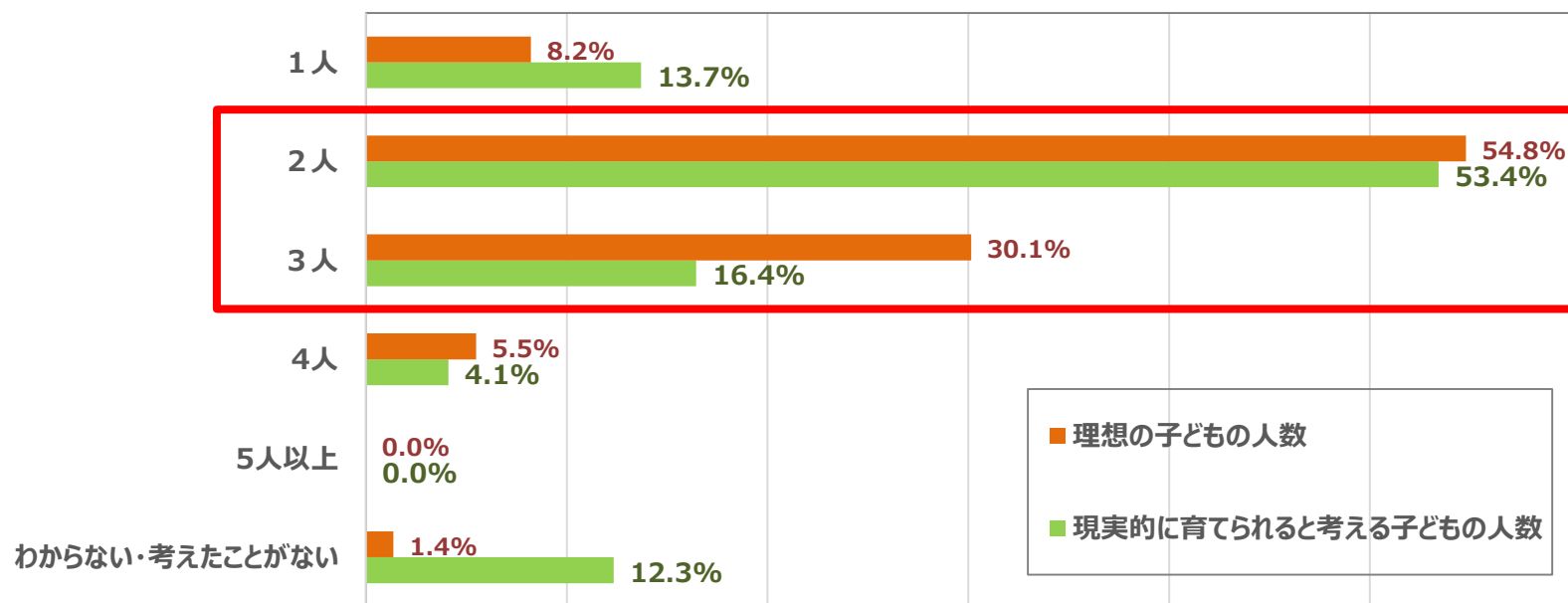
Q4: (お子様がいない方へ) 将来、子どもを望んでいますか。 (n=84)



理想の子ども数は、9割以上 (90.4%) が「2人以上」！
一方、現実的に育てられる子どもの数が「2人以上」の回答は
-16.4% (74.0%) と、理想と現実の差が明るみに

Q5 : 理想として、子どもは何人欲しいと考えていますか。

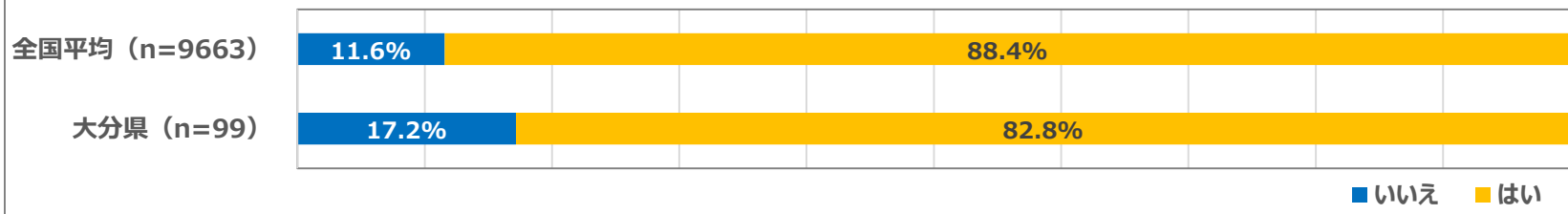
Q6 : 現実的に、生涯何人の子どもを持ち、育てていけると考えていますか。 (n=99)



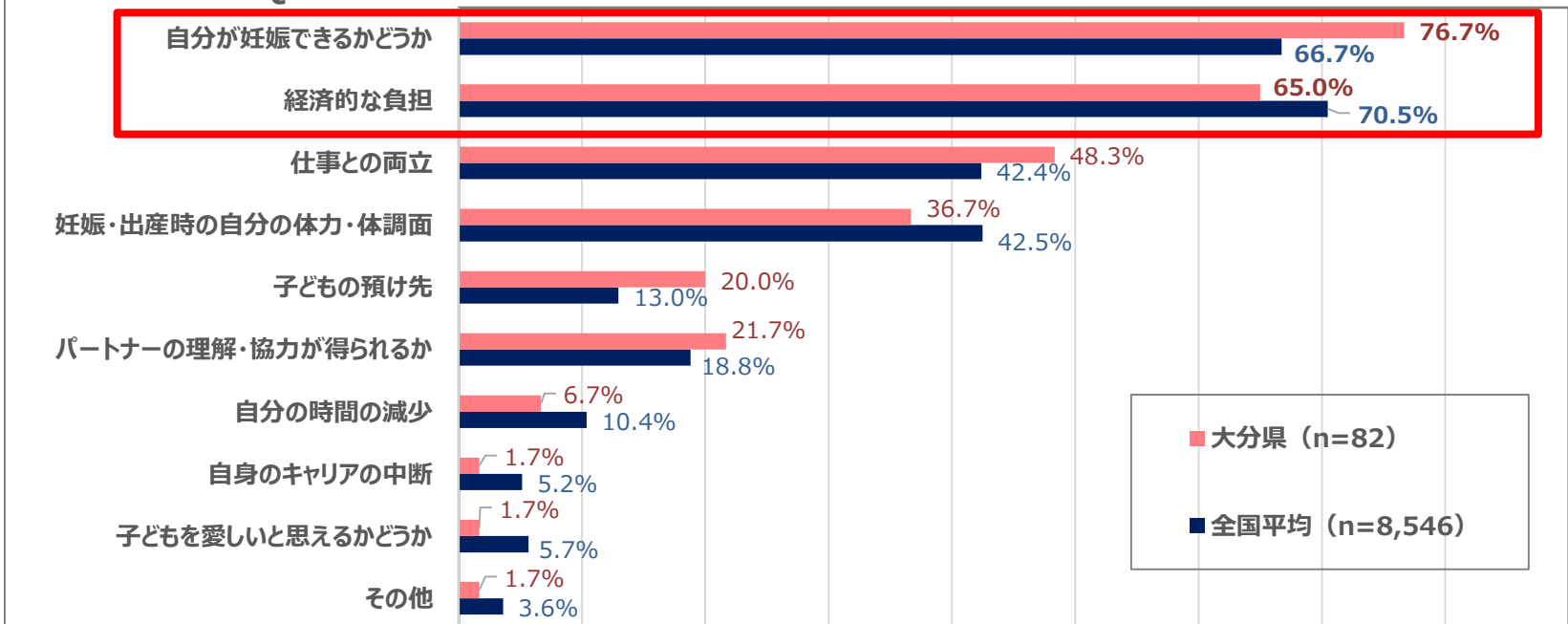
今後、子ども（第2子以降も含む）を望んでいると回答した女性へ、理想の子ども的人数と、実際に育てていけると考える子ども的人数を聞いたところ、理想としては9割以上が2人以上の子どもを望んでいるという結果になりました。ただ、理想の子ども的人数を「3人」と回答した人が30.1%いたのに対し、現実的に育てられると考える子ども的人数を「3人」と回答した人は約半分の16.4%となるなど、理想と現実に差が生まれていることがわかります。

8割以上の女性が「子どもを持つことに不安がある」と回答。 不安の要因は「妊娠できるかどうか」「経済的な負担」がTOP2

Q7：今後子どもを持つことを想定した際、何か不安なことはありますか。



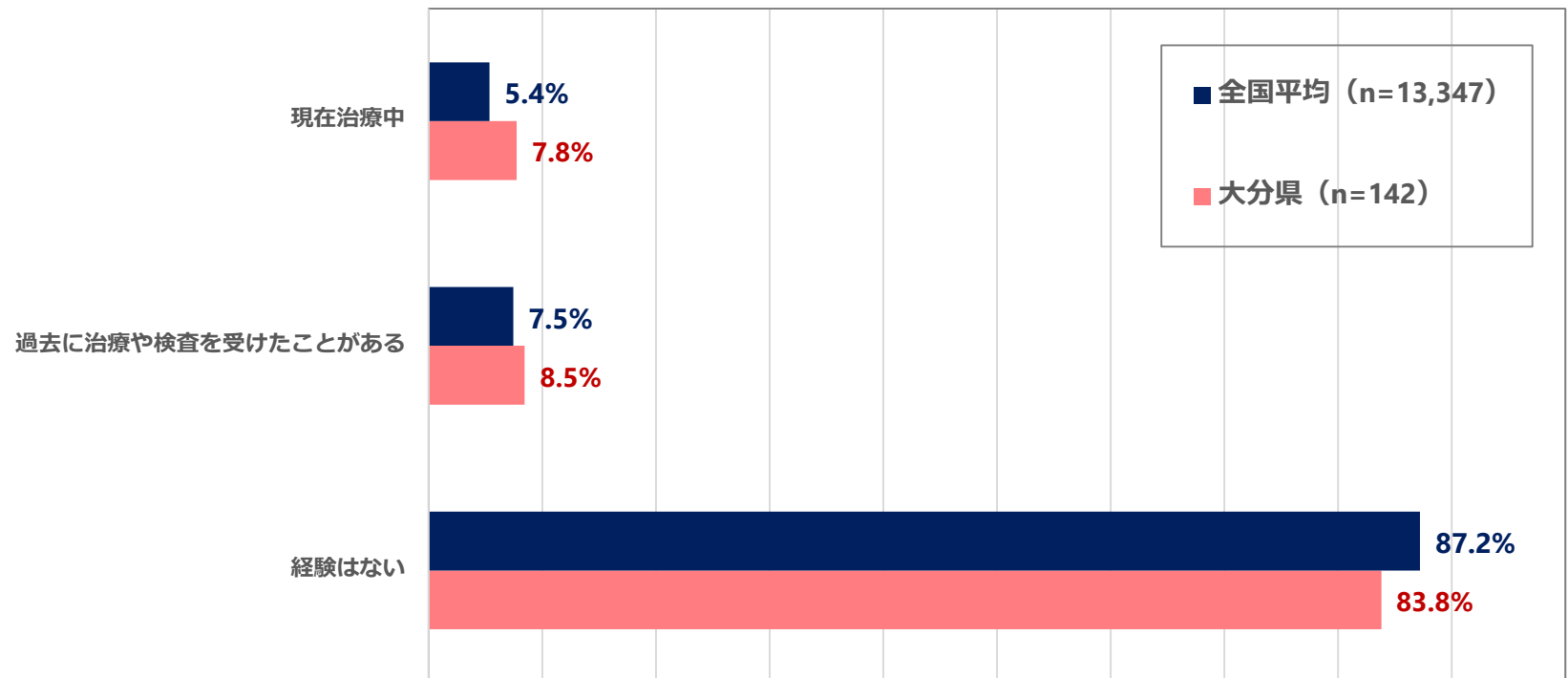
Q8：具体的に不安に思っていることについて、当てはまるものを教えてください。(複数回答)



6人に1人が、 不妊検査や不妊治療の経験があることが判明

全員

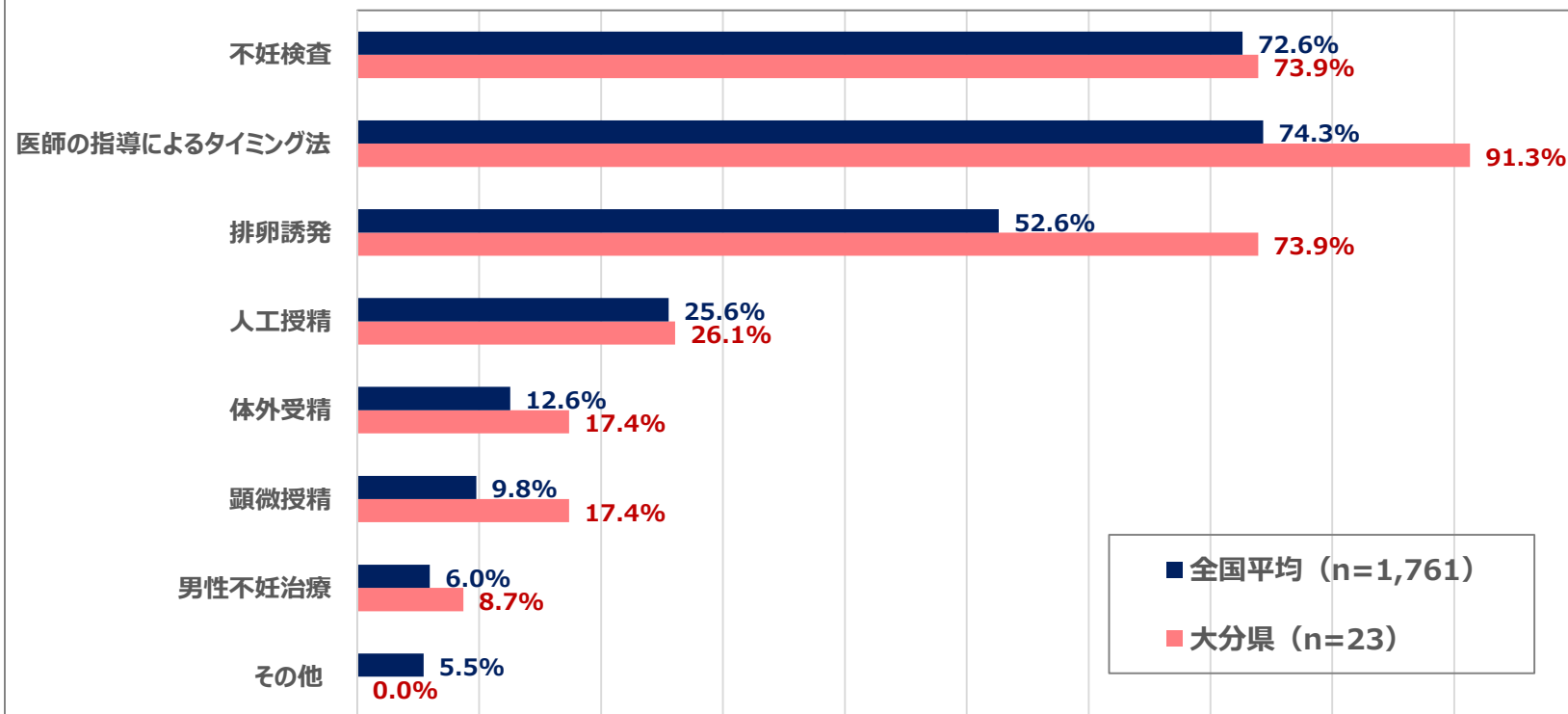
Q9:あなたは医療機関にかかって不妊検査や治療を
経験したことはありますか。(パートナーの治療も含む)



経験した不妊検査・治療の内容は 「医師の指導によるタイミング法が」最多の9割

不妊検査
治療の経験者

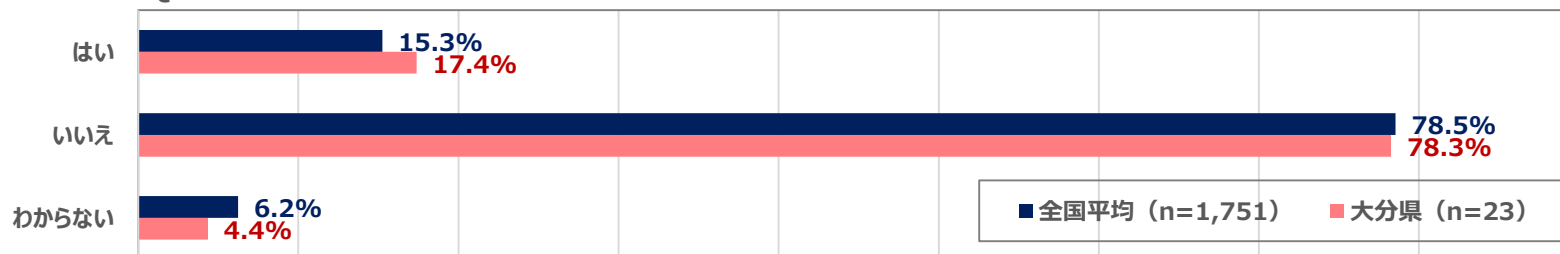
Q10:経験した不妊検査・治療を全て教えてください。(複数回答)



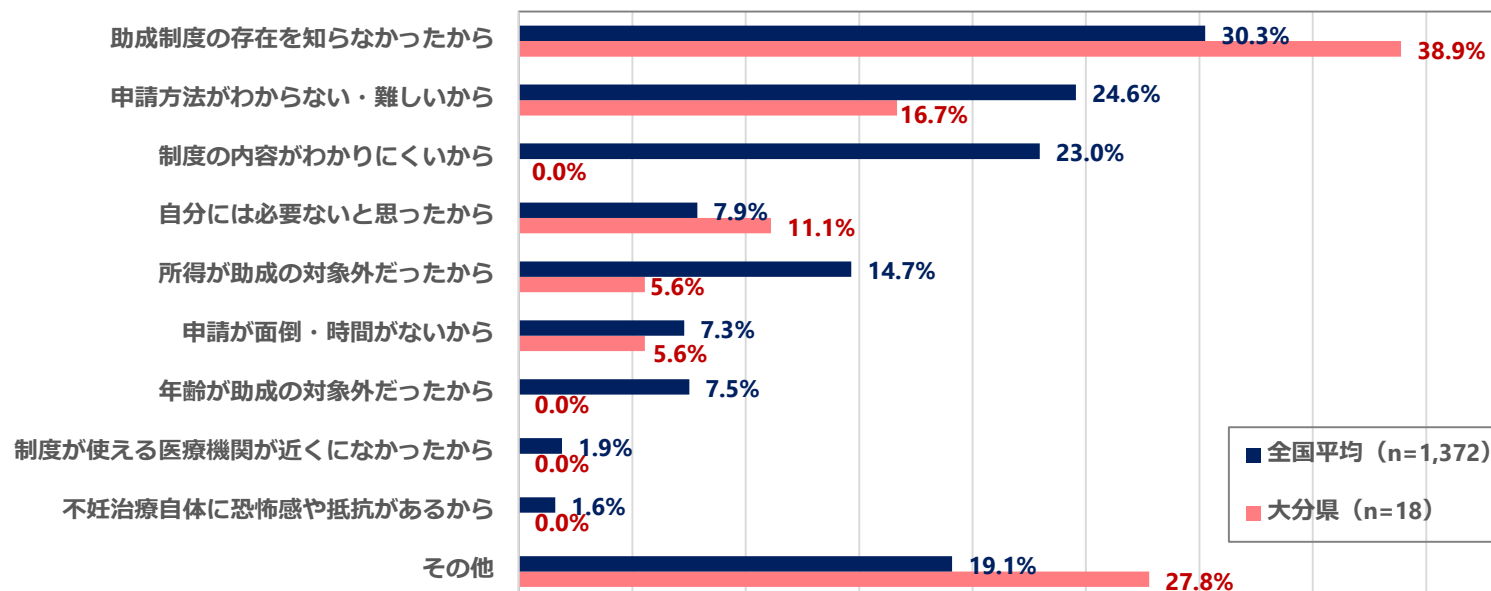
不妊検査や治療の際、自治体の助成制度を利用したのは2割未満？！

不妊検査
治療の経験者

Q11:不妊検査や治療の際、自治体が行う不妊治療費助成制度を利用しましたか。



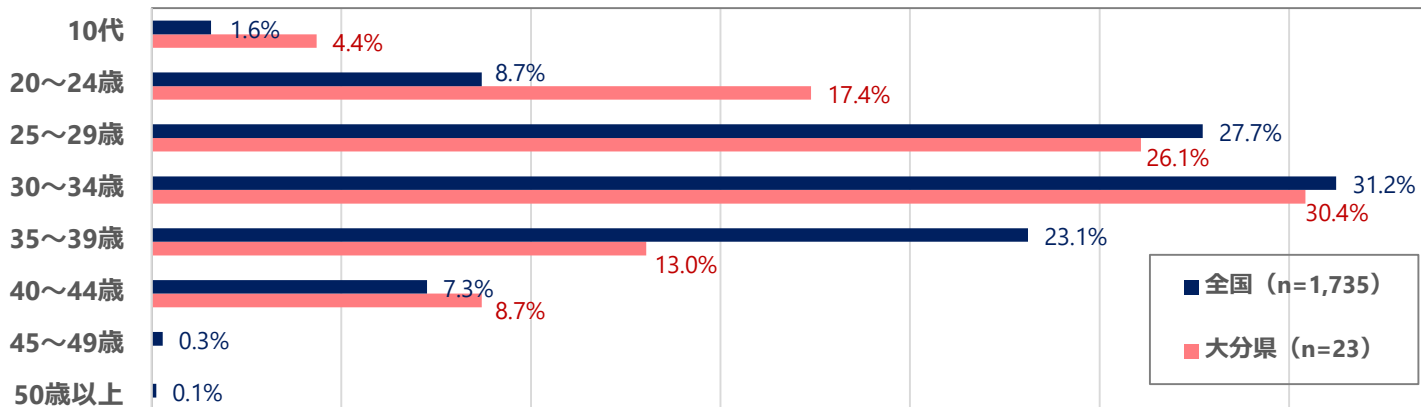
Q12:助成制度を利用しなかった理由として当てはまるものを教えてください。（複数回答）



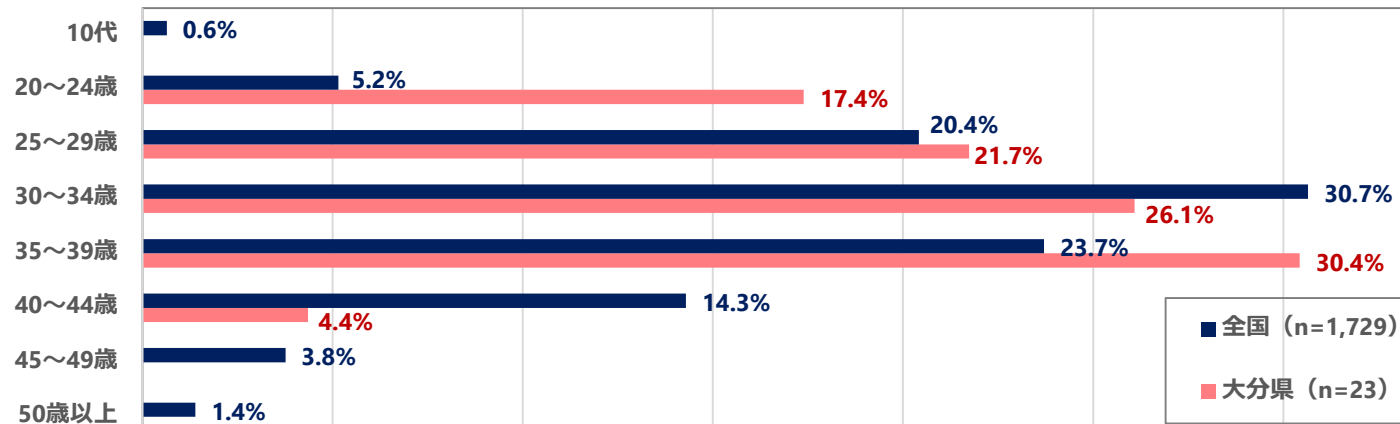
治療開始時の年齢は、男女ともに30代が最多

不妊検査
治療の経験者

Q13:不妊治療を開始したときのあなたの年齢を教えてください。



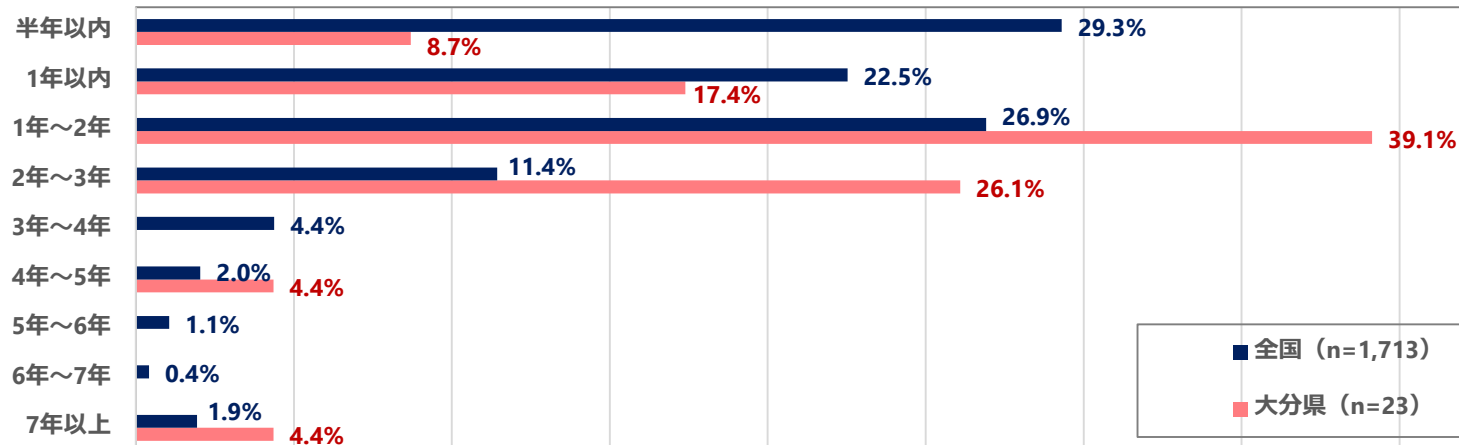
Q14:不妊治療を開始したときのパートナーの年齢を教えてください。



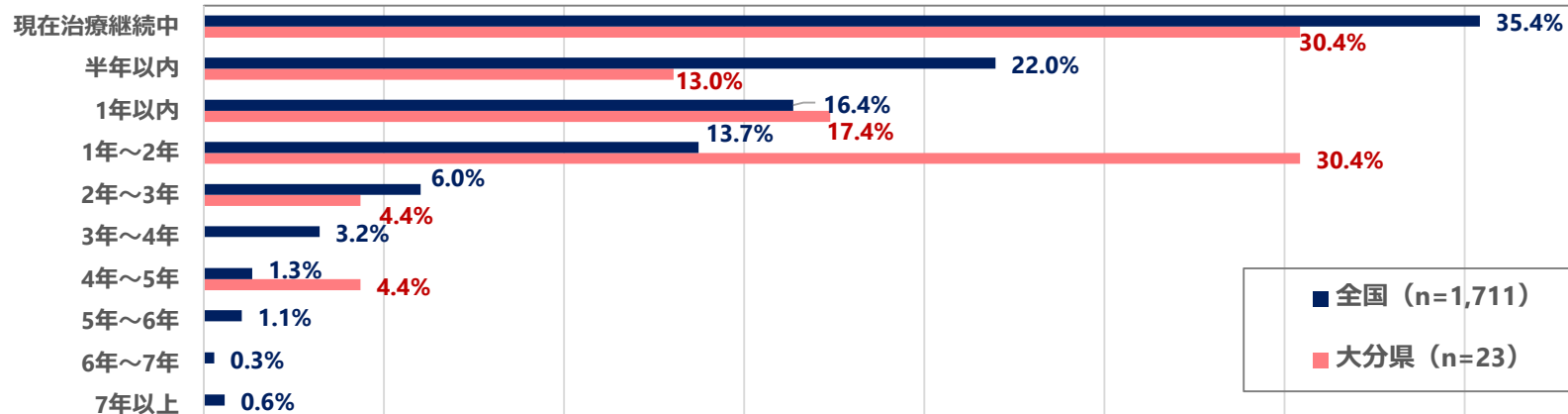
全国では約80%、大分では65%以上が 妊娠を希望して2年以内に不妊治療へ踏み切っている

不妊検査
治療の経験者

Q15:妊娠を希望してから、不妊治療を開始するまでの期間を教えてください。

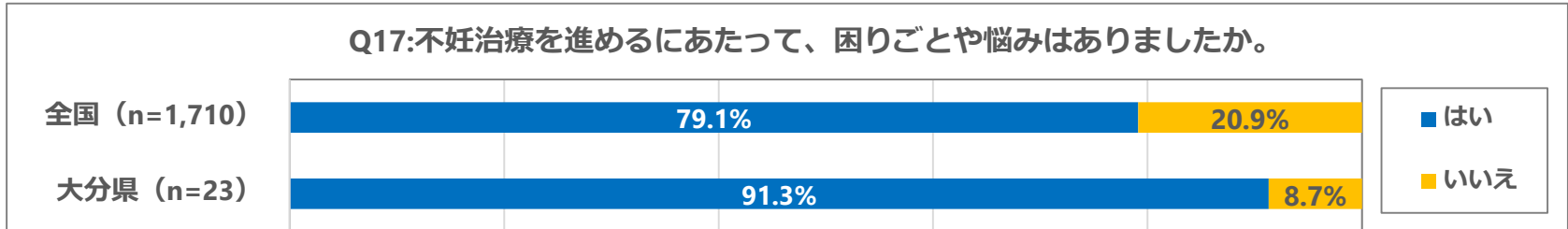


Q16:不妊治療を行った期間を教えてください。

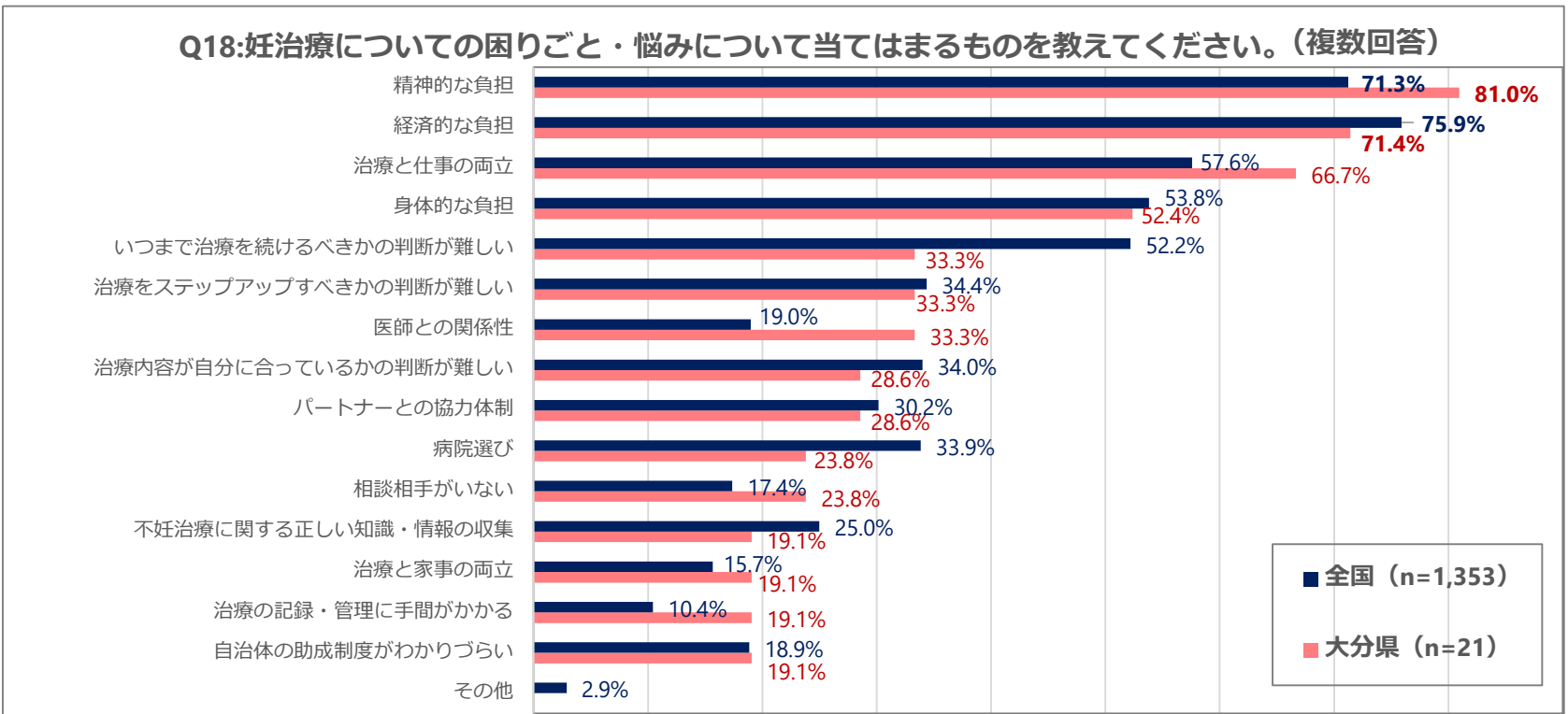


不妊治療の悩みのTOP3は「精神的な負担」、「経済的な負担」、 そして「仕事との両立」。いずれも過半数の人が選択

Q17:不妊治療を進めるにあたって、困りごとや悩みはありましたか。



Q18:妊治療についての困りごと・悩みについて当てはまるものを教えてください。(複数回答)

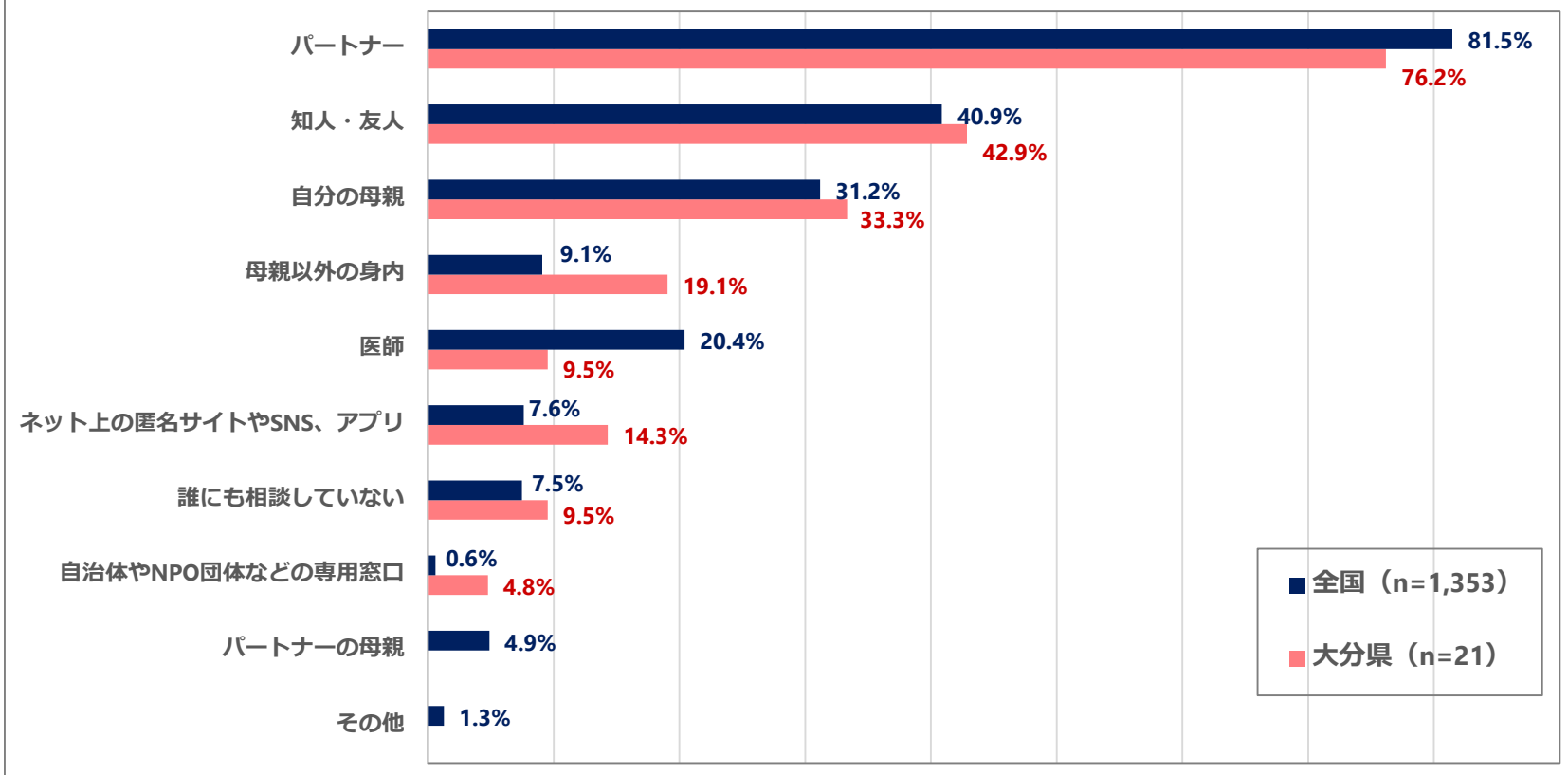


不妊治療についての相談相手は「パートナー」が8割近く最多！ 一方、「誰にも相談していない」という回答も…。

不妊検査
治療の経験者

Q19:不妊治療について、誰かに相談していましたか。

相談相手として当てはまる相手を教えてください。(複数回答)

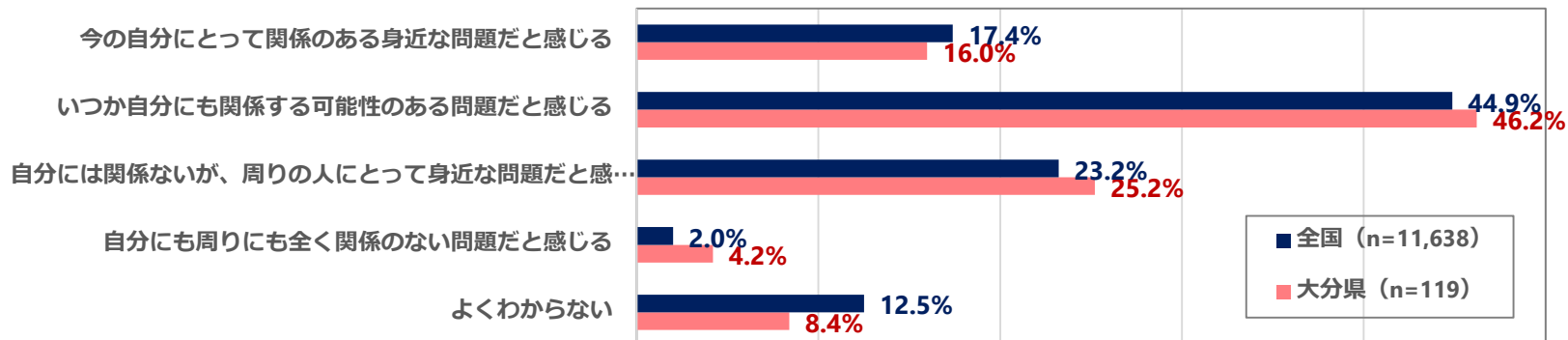


不妊治療経験のない女性も、6割以上が 不妊治療について「自分に関係のある問題」と考えている

不妊検査
治療の未経験者

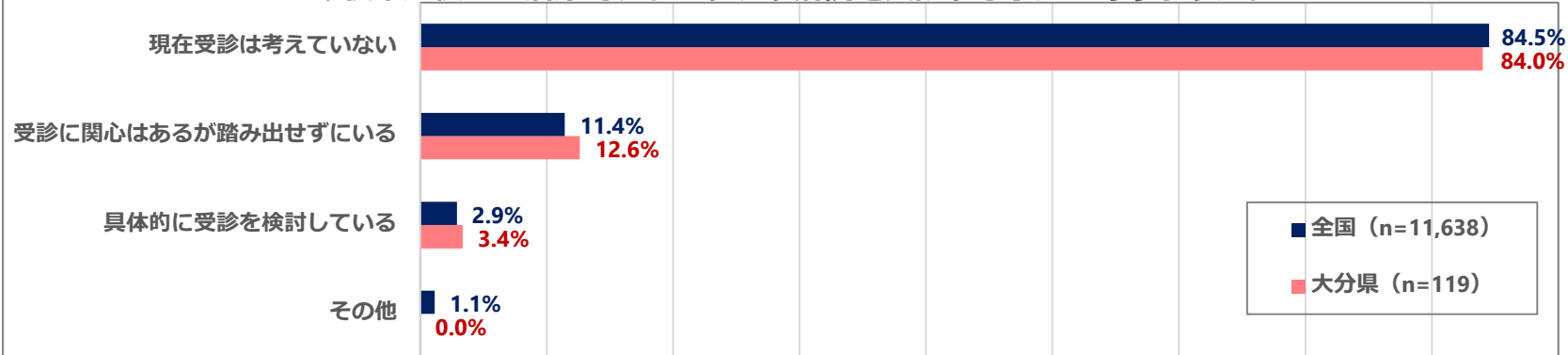
Q20：（不妊検査や治療の経験がないと回答された方へ）

不妊の問題について、あなた自身はどのように感じていますか。



Q21：（不妊検査や治療の経験がないと回答された方へ）

今後不妊検査・治療でクリニックや病院を受診する予定はありますか。

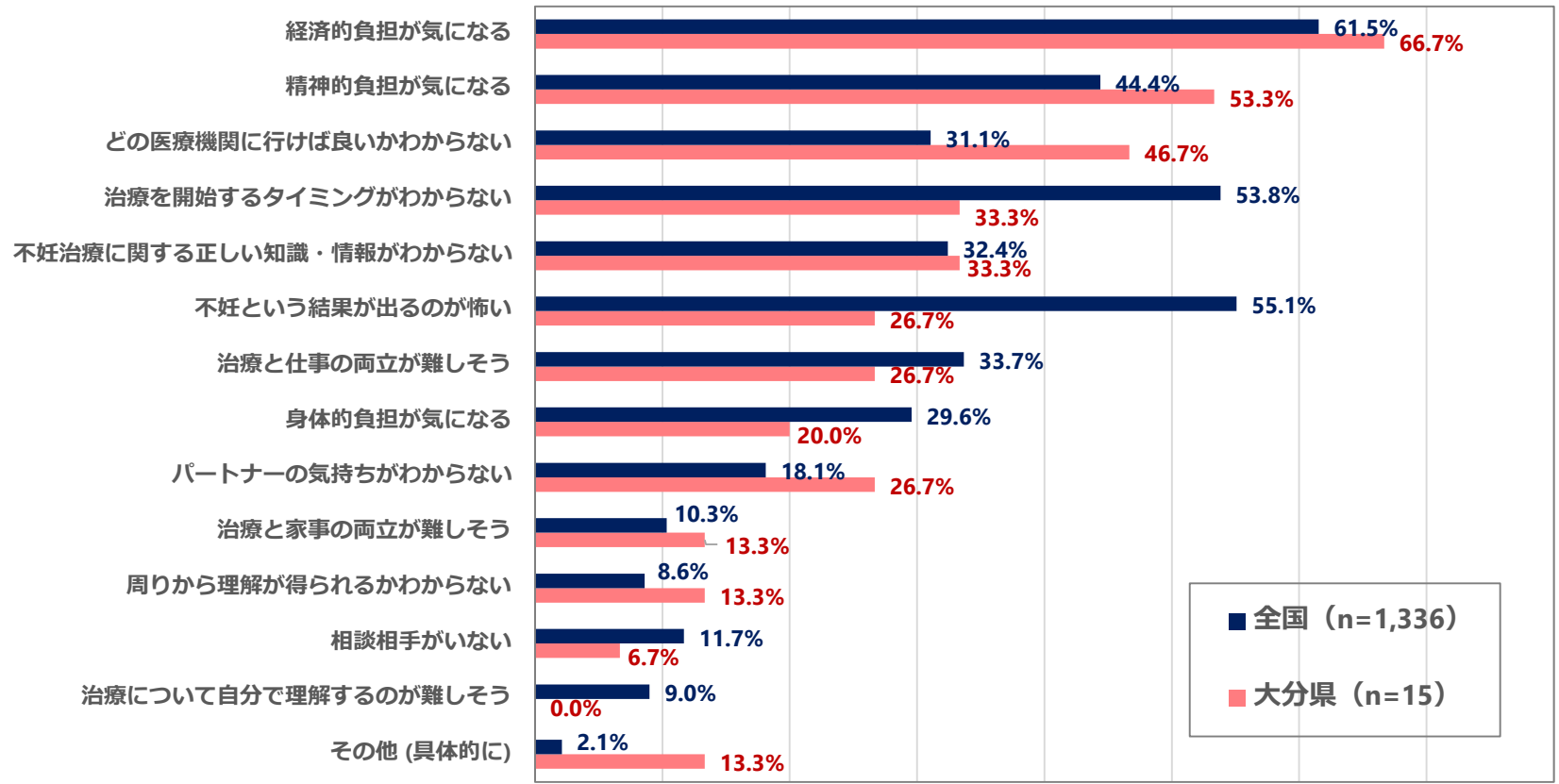


「経済的負担」、「精神的負担」、「医療機関の選び方」… 不妊治療に踏み切れない理由はさまざま

不妊検査
治療の未経験者

Q22：不妊検査・治療の受診に踏み出せない理由として

当てはまるものを教えてください。（複数回答）



妊娠・出産の際に活用できる支援制度としてあなたが自治体に望むものや、「こういう支援があれば子どもを産みたいと思う」というものがあればご自由にお聞かせください。

- ・もっと男性に不妊症治療の知識を高めて貰うためのパンフ配布や、男性も一緒に行きやすい産婦人科の設備にしてもらいたい！
- ・もっと制度などを分かりやすくしてほしい
- ・子供を欲しい、育てたいと思っても、仕事先の理解が得られず「子供が出来たら今の仕事は無理だろ」と言われています。妊娠の前から職場との間に立ってくれるような支援があると良いです。
- ・支援制度を望む前に、地域によっては産婦人科がなく通院が遠いところもあります。
- ・出産後のサポートや子どもを短時間でも預けられるような場所をつくる
- ・職場に子育て支援があると助かる
- ・多子家庭への援助(医療費や給食費無料など)
- ・自分が将来子供を産み育てる為には、病院の協力や市政がしっかりサポートして頂けたら安心して仕事や育児が出来るかと思えます。その為には未婚や新婚の女性や夫婦に、郵便物なりで市の補助や制度を教えて頂かなければずっと知らないままで何も支援制度を知らずにいるとすごく勿体ないと思いました。
- ・産んで育てやすい環境。保育園の数と保育料の安さ。産休・育休を取りやすいように補助など